

伯國聖市マエストロ・
カルチン街一六九番
(ヴルグイロ街三八)
發行所 日伯社
本紙定價 一年 金三〇銖
外國郵稅共 金百銖

全員二十四名を
衆議院より選任

〔東京廿二日〕務官設置を決定した本日の閣議席上

近衛首相より現内閣は貴院から入閣した者が多いので大體に於て政府と貴院との連絡は緊密且つ圓滑に運ぶものと思はれると、今日の政治情勢から觀察してこの重大難局を打開してこれを克服するにはどうしても

國民的參加を必要とするので、各省政務官は國民代表の府たる衆議院から二十四名全部をとりたいと思ふ

旨を述べ、各閣僚共異議なくこれを承認、更に政黨各派への割

當人選は一切首相に一任することとに決定したのである、よつて風見書記官長、龍法制局長官は首相の命により同日午後各派に對する刺激につつき協議し、その結果を首相に報告し首相の裁斷を仰ぐこととなつたが、人選に關しては中島、永井の黨出身像僚とも打合せ詮衡することになるべく、詮衡が順調に進めば次回二十五日の

定例閣議で各省二名づつ、二十四名の政務官が決定任命されるであらう

なほ各派への割當ては未だ決定しないが政務九、政友九その他の小會派、無所属六となるものと見られてゐる

有望視される

政務官候補

〔東京廿二日〕目下有有望視されてゐる政民並に小會派の政務官候補者屬塊は左の如し

民政黨

政務次官 鶴見祐輔、松村謙三、内ヶ崎作三郎、勝田永吉、一宮房治郎、松本忠雄、山縣廣治、加藤綱、平川松太郎、比佐昌平△參與官 宮

王外交部長外交政策宣明

【南京同盟廿二日】王外交部長は十八日南京に於て日本記者團と會見支那當面の外交政策につき大要左の如き意見を發表した。日支交渉の再開について自分は調整に對しては支那としては何等先決條件を示してゐないが事實上日支間の諸問題は悉く政治問題に關聯してゐるから、政治問題を懸案の儘として經濟合作を行はんとすると恐らく良好な結果は得られないであらう、例へば冀東地方區の存在及び密鐵問題が解決しない限り北支の政治經濟の完成はかゝる事情の下では如何なる政治經濟建設も何等の効果もない、若

しかる問題が圓滿に解決せしめられれば兩國の關係は容易に常道に復歸する。他の懸案も解決すると信ずる、最近の支那は決して排日を提唱してはゐない、然し侵略に對しては必ずこれに打撃つであらう

一、日英會談は相當廣範圍に亘り、日支問題だけに限られずとも、とは思はない、然し如何なる狀態でもそれが支那に關する場合は第一に支那の領土主權及び行政の官制を尊重すべきであり、第二に支那の意見を聽取し支那の諒解を得べき

一、私は近衛公とは「昨年會議し同氏の支那問題につき研究し深き態度を知り尊敬してゐる」近衛公は日支關係の調整は朝

康德皇帝御遭難

には三名の不逞漢に襲はれ給ふたが幸ひ御身邊に兇狀あらせられなかつたと傳へらるる犯人三名中一人は即座に捕はれたが他の二人は遂に逃亡した

【倫敦發】香港特電によれば滿洲國皇帝陛下には過日數名の不逞漢に襲はれ背部に御負傷御發熱と傳へられるが支那側新聞は本件につき詳細なる報道を避けてゐる

國康徳皇帝陛下

政府、貴院改革に
積極的に乗出す

通常議會に其の實現を期す

【東京發】政府は愈々貴族院改革に積極的に乗り出したため同調査會の機構を一部改め新に副會長制を設け馬場內相をあてることと決定したが、馬場內相の副議長前には委員の顔觸れも改め會長就任は内相が今後改革案立案の中心となり政府案決定のための主役となるものである。政府では既に發表された調査局案府としては首相が多年貴族院制でその骨子とするもので大度改革を主唱したるにも鑑み次その線に沿つて成案される見

實現を期す
べく第一
總會の開

新設の社會省

近く本格的立案に着手

議を進めてゐるが、同試案に關する關係當局の説明も一兩日中に終了するので、それを待つて愈々本格的立案に着手する段取となつた、而して新設省の機構に關し國民體力の向上を計る國民保健の中心機關たらしむべしとする者と、社會政策を中心となすの機關たらしむべしとする者があるので、企劃廳としてはこれ等の試案意見を整理統合し先づ基本的方針を樹立して後具體案を作製する方針で、結局國民體育問題にのみ偏することなく社會政策を多分に加味する廣義の社會省に落着ることになる模様である。

華族を無視して

治は行はれぬ

東京廿一日】貴族院交友クラブ
では本日例会を開き近衛首相の抱懐する貴族院改革方針につき意見の交換を行つたが、これを綜合すれば大體左の如くである一、近衛首相の主張するが如く華族議員を減少して貴族院を専門的裁断をなすの機關たらしめることは必要であるが、といふ事實を無視して政治は行はれないから、一時に多數の華族議員を減少することは困難であらう、多額議員制度の存廢が問題となつてゐるが、これを略して近衛首相の考へてゐる如く、現代法制に改めたところでは法律的に根據を有する體は商工組合や農會等に於ては限定されてゐるから廣く方面の代表を得ることゝ廣くである、多額議員は一種専門的な農村議員であるから存續すべきだと思ふ

（爲替）
廿二日
四・四〇〇
七・一三五〇
伯日英
伯日米
一五・一三四〇

日本みやげ

三浦生

《》
《》
《》
こうなると
益々憤劫には……殊に田舎はそうなのであつて歸りなすうかと思ふと一日二、三づらい、親十圓のホテルに物の二、三週圓のホテルでと、自分の懐を土裏にした友人が忠義顔に「そりや勿體ない僕の所に泊つてその金をモツと有意義な事に使つたらよからう」など云ふ、日本じや料理屋待合で一夜に百圓も消費するとは勿體ないのでなくホテルで一日二十圓をガスタするの何體ない事になつて往つた時は非常にと驚き散へ寺で

カ一ザ東山
CASA TOZAN, LTDA.
Rua Mauá, 25 - C. Postal, 911 - SANTO AMARÃO
Phones: 2105 e 2106 - End. Teleg.: "TOZAN"

東 山 銀 行 部

伯貨定期預金 一ケ年六分

サンパウロ事務所

Rua Florencio de Abreu, 74 e 76
Caixa Postal, 528 — SAO PAULO
 Phones: 2-1685, 2-2981 — End. Teleg.: "TOZAN"

リンス事務所

Av. Voluntario Rosalino Silva, 147
Caixa Postal, 11 — LINS
Phone 240 — End. Teleg.: "TOZAN"

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria N.º 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

横濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

定期預金六ヶ月以上利率當分年三分五厘の割であります外に當座預金、特種當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます

伯貨預金

定期預金利息は現在年三分三厘の割であります

當行内地各店の定期預金又は特別當座預金とせらるゝため御送金なさる場合前項に準じて御取扱ひ致します

八につき二コソト以内しか出来ません
 金は無手数料で御指圖通り御取計ひ
 致します

新令に基いて御申込に従ひ申請の上許可を得て御取扱ひ致します、法令によらして唯今の處送金金額は一ヶ月一

郷里送金

針も勿論
コロムビア

著音器の
コロムビア
レコードも
直接月伯社

か元大
久治郎
本人が

著者
音器
士

又各地商

つた、



書店へ

醫學博士 高岡專太郎著

ブルの家庭醫書

四六版、九百八十餘頁、布裝頓美本
三色版二、銅版五、挿繪二百餘枚

定價 三十ミル
送料 一ミル

附錄
イロハ索引付

第一編 總論

病氣になる原因を簡單に判りやすく説明し、一般衛生も各項目に亘つて詳説してある

第二編 病氣の兆候と手當

頭が痛い、腹が痛いといふときその徴候から病氣を探しあて、手當と警戒について適當な知識が直ちに得られるのが他の醫書に見られない此書の特徴である

第三編 疾病

ありふれた病氣から南米特有の病氣に到るまで出来るだけ實際的に書いてゐるから、今迄の本よりずっと判りやすい、特に農村に多い中毒の急場の手當が書いてある

第四編 醫療

診療や治療をうける心得がないために間違つき、醫師の選び方がわるいためとんでもない損をしてゐる、同胞に正しい治療を受けさせるように現代醫療を各項目について説明し且各病氣の養生法を書いてある

第五編 家庭藥

僅かな藥で臨機の手當が出来るように、その利用法を説いてゐる

第六編 性

此項では正しい性の知識とその主な病氣について述べてある

第七編 婦人衛生と育兒

海外にある婦人の健康が悪いといはれてゐる、それを豫防し或は健康體に恢復するあらゆる事項を述べ、育兒に對しては獨特の實際知識を説いてある

第八編 家庭看護法

家庭で出来る看護法を簡單に述べてある、お母さんも娘さんも必ず知つてゐねばならぬことである

第九編 強壯法

病人にでも虚弱な人にでも各年齢に適當した強壯法を日常實行しやすいように説明し加へて種痘やチブス豫防注射の心得を述べてある

附錄

いろは順の索引と本文の追加を添えてある

醫書といへば醫者に不便な田舎にだけ必要に思はれてゐたが、本醫書はその常識を越へて田舎は勿論のこと都會に住む人達にも日常欠くべからざる衛生顧問であり、家庭醫である

發行所 互生會
發賣所 東洋書店

LIVRARIA ORIENTAL

Caixa Postal, 3138 — S. Paulo

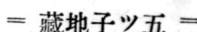
特輯 頁

は伍一郎君、十二時近くには
伍久子さん、翌五日の午前二
時には伍二郎君と残らず枕を
ならべて死亡した

恰度この時、福島縣下到大演習

て十四人を擧げた末お嬢さんに
なつた、いまではハワイのプウ
ネでワイ／＼と寄つて來る子供
や孫に圍まれて皺だらけの顔を

＝ 藏地



福島縣多産村の奇蹟

つて行つて納めて来た
() 後、傳吉さんの一家
() その は當時流行のハワイ
() 行きを、傳吉さん
は向ふで死んだが、お手つな
いだ五人の子をぞろぞろとうん
だトモさんは、未だに達者で今
年七十三歳、八男六女平然とし
て、寺では「五つ子地藏」を刻
み、盛んの開帳式を擧げた
これはたつた
三ツ子
双生児にお誂向きの
乳房持つ母親

エヘン、五つ子が生
れたのは、明治卅四
年の十一月一日で、
ずい、この禰の神を
ヒヨツコリと出した
親ごは字堂内に住ん
でゐる小作農で、船
といつたので名を

（智） （慧）
（伍） （の）
（字） （が）
（よ） （か）
（か） （つ）
（の） （を）
（名） （を）
（を） （出）
（し） （た）
（が） （傳）

え、五つ子が
れたのは、
年の十一月
ずい、この
ヒヨツコリ
親ごは字堂
でゐる小作
といつたの

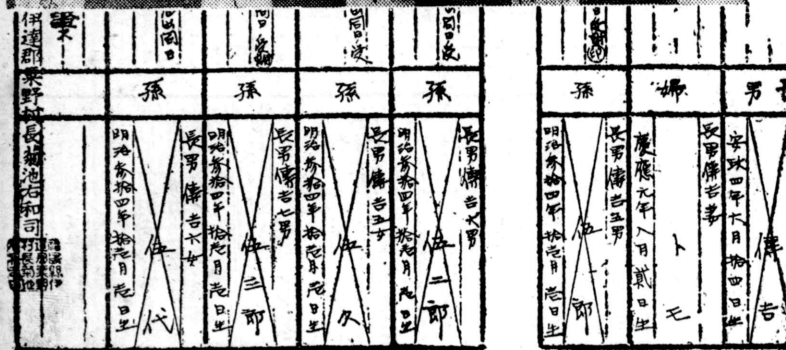
やうに三度廻つた、名をつ
段になつて、區長さん、村
者が大勢よつて
を出したが、傳
んは「五つ子
伍の字がよか
つたので名を
を、

福島縣多産村の奇蹟

つて行つて納めて来た
() 後、傳吉さんの一家
() その は當時流行のハワイ
() 行きを、傳吉さん
は向ふで死んだが、お手つな
いだ五人の子をぞろぞろとうん
だトモさんは、未だに達者で今
年七十三歳、八男六女平然とし
て、寺では「五つ子地藏」を刻
み、盛んの開帳式を擧げた
これはたつた
三ツ子
双生児にお誂向きの
乳房持つ母親

兒にお誂向きの
乳房持つ母親

双生児にお誂向きの
乳房持つ母親



村ぢや氣まり惡くて大聲でお話
もならないのだが、これは字向
川原で、三ツクンは大正五年
にうまれた、やはり小作農で八
巻勇さん(當時四三)と妻萩代さ
ん(當時二八)との間にお手々つ
ないで三人の女の子、一人は死
産して、二女竹代(二二)さんと
三女の松代(二二)さんが、名も
めでたくスク／＼と育ち、現在
どつちも栗野小學校の五年生だ
が、揃つて十番以内の成績。先
生も「こりや面白い」と油をか
けて勉強させてゐる、その他栗
野村の双生児など、戸籍吏も、
「一々覚えてゐられるもんぢや」と、
てんで問題ではないが、その
双生児組のお母さんの一人佐
藤チヨ(七五)さんなどは、ナン
ト大きな乳房の下にもう一つの
乳房が兩方について居り、双生
児を一度に抱へて乳をのませる
時、二人はおの／＼もう一つの
乳首をいぢりながらやぶつて
ゐたといふ、このチヨさんも子
願者だが「僅か十人ぐらゐぢや」と
申譯なさうな顔をしてゐた

高野桂秋

長尾商店
ソロカバナ街

[illegible]

純日本式ふとん綿

新好月の御清國も御好みに應じ俵所に御調製可仕候
小畑製綿所
 小畑又吉



御送金の節は銀行手形若くはペー
 ーシステムにて御願ひ致します最も研
 究迅速です。コンパロールは商取引
 上不便で時間をとり発送が遅れます
 Caixa Postal, 2186 - Teleph. 8-2587

Rua Butantan, 2
São Paulo
サンパウロ 驛發送値段
倉庫渡しは割引あり

[illegible]

寒夜の娯樂に

コロンビアの逸盤を…

六月新譜

部アビムロコ社伯日

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII

S. Paulo — 5.a-feira 24 de Junho de 1937

Num. 1.161

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA
DIRECTOR
Masaki Udhara
GERENTE
Alfredo Takeuchi
Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 89
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegrafico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 164
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — BRASIL
Assinaturas
PARA O BRASIL
Por anno.....\$6000
Por semestre.....\$3000
Numero avulso.....\$500
PARA O EXTERIOR
Por anno.....\$10000
Annuncios
Temos a disposição dos interessados
uma tabela completa de preços para
annuncios nesta folha

Noticias e telegrammas do Nippon

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN e dos Jornaes)

Campanha contra a compra de velhos navios estrangeiros

Por iniciativa da Sociedade de Melhoramentos de Navios Mercantes

Tokio, Maio — A prosperidade inflacionaria das nossas industrias, nestes ultimos tempos, vem exigindo quantidades cada vez mais crescentes de materias primas. Essa circunstancia criou uma posição privilegiada aos armadores e companhias de navegação, que tem os porões dos seus navios completamente tomados, como acontecia por ocasião da conflagração mundial. Para amenisar a falta de meios de transportes maritimos, de que vem resentindo o nosso mundo industrial, varios armadores e companhias de navegação iniciaram a compra de velhos navios estrangeiros, supprindo com os mesmos a lacuna aberta com o excesso de cargas espalhadas pelos continentes. A medida, porém, não agradou a Sociedade de Melhoramentos de Navios Mercantes, que iniciou uma campanha tenaz contra essas compras. Conforme a resolução tomada em recente assembleia de comissões, a Sociedade entrará em entendimento com os poderes publicos, no sentido de evitar essas compras, que muito prejudicam a marcha das obras iniciadas pela referida Sociedade.

Augmenta consideravelmente o numero de segurados

Tokio, Maio — O numero de segurados em nosso paiz vem aumentando dia a dia, sendo esse augmento mais notavel com relação ao seguro total. O numero das pessoas cobertas por esta especie de seguro se elevou, em 21 de março ultimo a 25.803.139, no valor de 3.937.643.890 yens (18.188.220 contos de réis). Comparadas essas cifras ás do igual periodo anterior, verifica-se um augmento de 2.001.093, no valor de 410.196.245 yens, sendo que só no mez de março p. findo o numero de segurados augmentou de 116.191. A média dos valores de cada um desses seguros é de 194,10 yens, sendo de 1,022 yens a média dos premios pagos.

O interesse do governo pelo fornecimento de carvão de pedra

Tokio, Maio — O ministro do Commercio e Industria acaba de conversar com o sr. Kenjiro Matsumoto, presidente da Federação dos Produtores de Carvão de Pedra, no sentido de promover a intensificação da produção de carvão de pedra em nosso paiz, dada a intensa necessidade desse combustível de que precisam as nossas industrias, principalmente as pesadas. O referido titular solicitou, então, do presidente da F. P. C. P. a sua opinião sobre a questão, compreendida em tres clausulas. Com as respostas devidas, estudará o governo novos planos para a melhoria do serviço de fornecimentos de carvão de pedra.

O governo combate a deficiencia de capitais recorrendo aos depositos bancarios

Tokio, Maio — A deficiencia de numerarios nestes ultimos tempos, desde o inicio do periodo de prosperidade inflacionaria em que vivemos, tem sido objecto de comentarios em todas as rodas industriais, que necessitam de grandes capitais para continuação e augmento das suas industrias. Esse estado de coisas, entretanto, não se limitava á economia privada das mesmas, sendo, pelo contrario, extensivo aos cofres publicos, que vem se sentindo em dificuldades em collocar as apolices emitidas para a execução da lei orçamentaria do Imperio. Afim de sanar esse mal, que pode prejudicar a marcha regular dos nossos serviços publicos, o governo vai lançar mão dos depositos bancarios a cargo do Banco de Desenvolvimento Industrial, da mesma forma adoptada nos ultimos mezes do exercicio financeiro passado.

Intensifica-se no Nippon o movimento em torno do controle de papeis

Em virtude da alta consideravel

Tokio, Maio — Devido ás dificuldades impostas á importação de materia prima das nossas industrias papeleiras, principalmente da cellulose, os preços de papeis vem subindo com intensidade tal que, só nestes seis mezes, se verificou uma differença para mais de 40 %.

Não obstante essa circunstancia, os nossos industrias de papeis não abandonaram ainda o seu controle, limitando o numero das machinas em movimento, facto esse que provocou ainda mais a alta já tão sensível, pois, os fornecedores procuram limitar as suas vendas, quando os consumidores procuram augmentar os seus stocks.

Em vista dessa circumstancia, tão alarmante aos impressores e livreiros, a Sociedade de Tokio, que conta em seu seio 280 publicistas tokianos, solicitou dos ministerios do Commercio e Industrias e Finanças, e da Associação Comercio-Industrial de Tokio, medidas tendentes a amenisar a situação creada, tendo sido propostos:

- a) A isenção total dos direitos aduaneiros ás materias primas de papeis e cellulose;
- b) O abandono completo da limitação das machinas em movimento;
- c) E. tabelecimento das tabellas officiaes maximas aos papeis.

Mais 3 navios ingleses serão adquiridos pelo capital nipponico

Tokio, Maio — Vão ser adquiridos, em Londres, muito breve, mais 3 navios mercantes, que prestarão serviço de transporte de cargas. Esses navios são de 8.000 toneladas, sendo dois de 1918 e 1912. Os preços tratados são, respectivamente, de 54.000, 51.000 e 42.150 libras esterlinas. Esses navios, embora adquiridos pelo nosso capital, continuarão com o seu registro em Londres.

A prosperidade das industrias no Japão demonstrada pelas estatisticas

Tokio, Março — A prosperidade das nossas industrias, nestes ultimos annos tem seguido um curso extraordinariamente progressivo. Segundo os dados fornecidos pela repartição competente, a duração dos trabalhos nas fabricas augmentou, em 1935, de 10,9 % em relação ao anno anterior, sendo notavel o augmento das horas referentes ás industrias metallurgicas, com 22,8 %, machinaria e chimica, com 16,6 % a 19,2 %. O quadro que segue demonstra cabalmente o progresso das nossas industrias, em os varios ramos:

1. Duração das horas de trabalho (mil horas)		
Porcentagem do augmento sobre o anno de 1934		
Ramos	Em 1935	
Tecelagem	3.009.338	5,6
Metallurgia	661.568	24,8
Machinaria	1.166.665	19,2
Oleificação	267.370	13,7
Chimica	661.017	16,6
Ferro e madeiras	241.993	11,2
Impressos e livros	191.020	6,3
Comestiveis	364.326	6,2
Gaz e electricidade	32.186	2,4
Diversos	416.267	9,7
Total	6.996.653	10,9

Completa a transferencia de fundos para o exterior

Perfazendo o total de 100 milhões de yens (500 mil contos de réis)

Tokio, Maio — O paquete "Nankai Maru", que deixou este porto ha poucos dias levou a seu bordo ouro em barra estimado em 11.276.800 yens pertencentes á terceira e ultima remessa do segundo periodo. Esse precioso metal foi remetido, como o das vezes passadas, para os Estados Unidos, onde vai fazer face ao acerto de contas do nosso commercio exterior, que vem resentindo o efeito dos "deficits" successivos. Com esta remessa, que é ultima de todas, foi completada a transferencia de 100.000.000 yens (500.000 contos de réis).

Consta que as barras de ouro das remessas do primeiro periodo foram vendidas ao governo yankee pela quantia approximada de 50 milhões yens, do qual 30 milhões foram pagos pelo nosso governo a diversos credores, tendo sido transferida a quantia de 20 milhões de yens para a conta do The Yokohama Specie Bank Limited, que a destinara para coberturas comerciais.

Augmentou consideravelmente o consumo de assucar

Tokio, Maio — O consumo de assucar em nosso paiz no exercicio de abril de 1936 a março de 1937, foi de 16.423.588 saccos, ou

sejam, mais 755.236 saccos em relação ao periodo anterior, correspondendo esse augmento a 5,1 %. Esse consumo é assim distribuido: (em mil saccos)

Classe	Em 1936	Para mais em relação ao periodo anterior
1.a — "A"	1.489	69
"B"	117	25
"C"	1.428	5
Total	3.035	99
2.a	6.409	279
3.a	5	
4.a	6.725	358
5.a	248	17
Total	16.423	755

A importação do assucar estrangeiro augmentou tambem no referido periodo, tendo sido notavel o augmento verificado na importação de assucar de 2a.

Unificação das pequenas empresas de electricidade

Tokio, Maio — Embora não se realize o plano do governo Hirota, de controlar oficialmente o serviço de fornecimento das energias electricas em nosso paiz, parece-nos que o objectivo visado será conseguido aos poucos, e por iniciativas particulares. Da mesma forma adoptada aki pela "Light", trust canadense, em relação ás empresas electricas do Interior, as pequenas empresas electricas no Interior do paiz, estão negociando a sua unificação, afim de formar uma "frente unica" dessa importante industria.

A exportação de tecidos de algodão para as Indias

Soffreu sensível redução no 1.o periodo do 3.o anno

Tokio, Maio — O 2.o periodo do 3.o anno do controle não foi fertil em exportação de nossos tecidos de algodão para as Indias, como vinha acontecendo anteriormente. Assim, no periodo que vai de 1 de outubro de 1936 a 31 de março p. findo, verificou-se uma sobra de 48.215.000 jardas, ou sejam 23.215.000 jardas para mais sobre o saldo contractual permitido, que é de 25.000.000 jardas.

O dr. Takejiro Kamata no Rio

Acha-se no Rio de Janeiro o dr. Takejiro Kamata, director clinico do futuro Hospital Nipponico desta capital. O dr. Kamata que é portador de uma mensagem de agradecimentos dos odontologos nipponicos aos seus collegas do Brasil pela calorosa mensagem que destes receberam, foi homenageado pelos medicos e cirurgiões-dentistas da capital federal

Saudou o medico patricio, o professor Augusto Lopes Pontes, presidente da Associação dos Cirurgiões-Dentistas da Bahia.

Em seguida falou o sr. Setsuzo Sawada, embaixador do Nippon junto ao governo brasileiro, que alludiu á amizade nippon-brasileira, frisando o augmento auspicioso das relações entre os dois paizes, nos ultimos annos.

Finalmente fez uso da palavra o dr. Kamata que, commovido, agradeceu a homenagem com que estava sendo distinguido.

O pavilhão japonês na Exposição de Paris

Segundo um telegramma da capital franceza, onde se realiza presentemente a Grande Exposição Internacional, foi inaugurado o pavilhão nipponico, na mesma exposição, a 18 do corrente. O pavilhão japonês, diz o alludido telegramma, destaca-se pela beleza e harmonia do seu plano. Possui um bello terraço e o interior cuja iluminação e mobiliario são de apurado gosto, contem particularmente uma série de tons vivos de grande belleza.

農家諸賢 アルセニアット

世界に誇る日本農薬會社の
優良國産品を!!

謹啓各位益々御清邁の段大慶至極に存じます

陳者昨年取次開始以來絶大なる御好評を賜り御使用者各位より適確なる實効を奏する砒酸鉛は弊社取次の

あるのみと豫想外の名譽を博しました事は些か誇りとする處で御座居ます

安からう悪からうは時代後れの言、安くて良い品

これが製造及び販賣者の標語の時代であります、弊社取次の砒酸鉛は此點に於て品質、効果、價格

共申分ない獨米品を壓する世界に冠たるの自信を有して居ります、むづかしい分拆率は略しますが大體砒酸鉛は常に全砒素を三二%以上含有して居り沈降率も沈降し難いものを上質とされて居ります、弊社取次品のものは

一、品質の一定なる事
一、全砒素含有三二%以上
一、努力節約上最初より大量の水を加へて簡單な攪拌で容易に分散、而も容易に沈降せぬ事
一、植物に最も忌むべき砒酸を絕對に含有せぬ事
一、他品の絕對及ばぬ特徴を誇るものである

アルセニアット・デ・シユンボ

は買方一つで重大な結果を招来します、但し本社責任取次の最良品をお撰びになることとす

早速次作への御用意を

先は右御案内迄
御注文は五十キロ以上
本社直接又は出張員へ

工場 日本農薬株式會社
伯國一手販賣 ヤマト産業株式會社
特約販賣所 日伯社營業部